

彦 下 建 第 2 3 5 号

令 和 0 3 年 0 1 月 1 5 日

国土交通大臣 殿

彦根市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和01年07月01日 付け 彦下建第 96 号 で提出した、社会資本総合
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和03年01月15日

計画の名称	彦根市における良好な水環境の形成と市街地の浸水対策の実現に向けて（その2）（重点計画）														
計画の期間	平成30年度 ～ 令和02年度（3年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	彦根市														
計画の目標	河川や琵琶湖の水質保全と住民の快適な生活基盤を創造するため、公共下水道の整備促進を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,005	A	2,002	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0.14	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R01末	R02末
1	公共下水道の処理人口普及率を82%（H30当初）から86%（R02末）に増加させる。			
	公共下水道の処理人口普及率	82%	84%	86%
	処理区内人口（人）／行政区域内人口（人）：住民基本台帳による 112,620（人）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	○	地域再生計画を含む	－
定量的指標 公共下水道の処理人口普及率の詳細 H30当初現況値82.5% R02末最終目標値86.5%												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	彦根市	直接	－	管渠（ 污水）	新設	東北部処理区関連 汚水 管の整備	污水管 Φ150～400mm L=12 .4km	彦根市	■	■	■			2,002		－	
												小計						2,002		
												合計						2,002		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	彦根市	間接	個人	—	—	東北部処理区 宅内排水 設備設置	宅内排水設備 33戸	彦根市	■	■	■			3		—
		基幹事業（A07-001）の整備に併せ、地域住民の宅内排水設備設置に対して助成を行い下水道の普及促進を図る。																	
											小計						3		
											合計						3		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

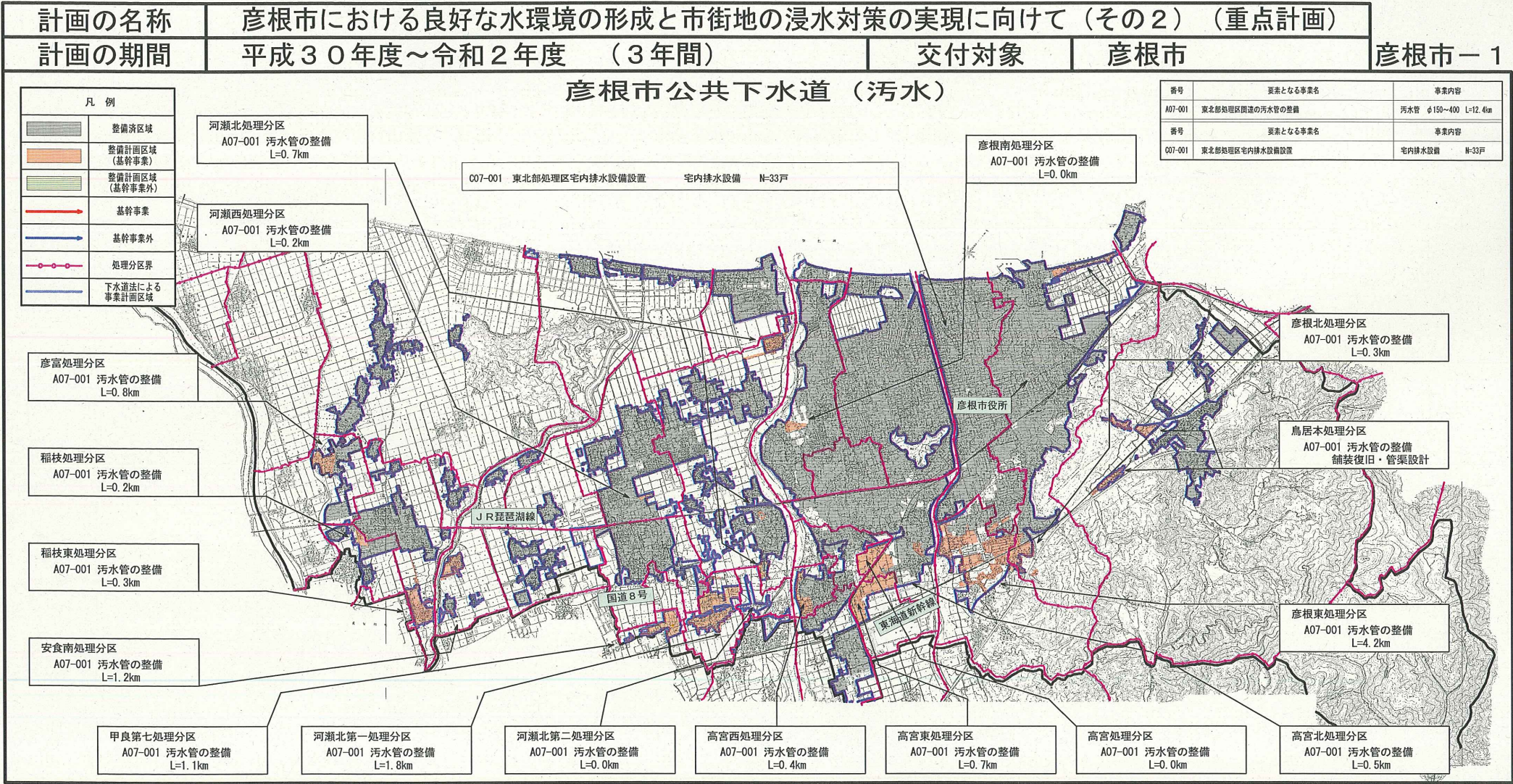
	H30	R01	R02		
配分額 (a)	320	338	343		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	320	338	343		
前年度からの繰越額 (d)	0	106	124		
支払済額 (e)	214	320	288		
翌年度繰越額 (f)	106	124	179		
うち未契約繰越額 (g)	1	3	10		
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不要率 (i=(g+h)/(c+d))%	0.31	0.68	2.14		
未契約繰越率+不要率が10%を超えている場合 その理由	—	—	—		

事前評価チェックシート

計画の名称：彦根市における良好な水環境の形成と市街地の浸水対策の実現に向けて（その２）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 基本方針（污水处理施設整備構想、流総計画等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画（事業認可等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地元情勢の変化を踏まえている。	○
I. 目標の妥当性 2) 社会経済情勢を捉え、適正な計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 費用対効果について十分に効果がある。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境	

[illegible]



社会資本総合整備計画の変更（第3回変更）

（整備計画名）

彦根市における良好な水環境の形成と

市街地の浸水対策の実現に向けて（その2）（重点計画）

（主旨）

過年度の事業執行状況を鑑み、全体事業費および要素事業における事業内容を変更する。

（変更箇所）

○交付対象事業

■（修正）

全体事業費 合計（A+B+C） 2,044 → 2,005

事業費 A

・A07-001 の全体事業費（百万円） 2,041 → 2,002

○事業内容および計画図

■（修正）

・A07-001 汚水管 Φ150～400 L=30.0km → 12.4km

以上